

PICK UP

短期大学部 第二看護学科 青葉丘キャンパスの 新設サークルをレポート!

学校法人藍野大学 広報誌

DECEMBER 2018

AINOTE



CONTENTS

Let's Go! 新設サークル
青葉丘キャンパス
バレーボールサークル&
手話サークル

アイノのイマ
キャンパスのニュースを! 新校舎について

MY SCHOOL DAYS = 私が18歳だった頃 =
短期大学部 第一看護学科
学科長 足利 教授

平成29年決算/平成30年決算
学食通信



Saluti et Solatio Aegrorum

Let's GO! 新設サークル

青葉丘キャンパスに今年誕生したばかりの2つのサークルを、それぞれ取材しました！

FROM

短期大学部 第二看護学科
青葉丘キャンパス



↑いまは上達を実感しはじめ、楽しくなってきたところ。もっと練習回数を増やしていきたい。

「**時間がないからこそ、
仲間と思い切り走り、
一緒に汗を流す
この時間がとても大切。**」

5限終了後、夕方6時過ぎ。青葉丘キャンパス近くの市民体育館に、元気いっぱいのかげ声が響き渡ります。そこで夢中になってバレーボールの練習に取り組んでいるのは藍野大学短期大学部 第二看護学科の1年生たち。特に授業数が多い1年生は、部活を楽しむ時間の余裕がありません。そのため青葉丘キャンパスでは、これまで公式の部活動が行われていませんでしたが、今年の6月に、「みんなでバレーボールをやるうよ!」と言い出した活発な1年生たちが、バレーボールサークル「Aibo」を立ち上げました。日頃は机に向かって黙々と勉強している彼女たちですが、この練習の時間だけは思い切り体を動かし、声をかけ合い、汗を流して気分を切り替えます。経験者4名、未経験者2名のサークルで最初のうちは動きもバラバラでしたが、練習を重ねるうちに一人ひとりの技術が向上し、呼吸が合うようになってきました。今の目標は、外部のチー



めっちゃフレンドリーで明るいメンバーばかり。興味がある人は、声かけてください!

ムに対戦を申し込むこと。現在6名と、1チームぎりぎりのメンバーに仲間が増えるよう、見学も大歓迎です。また、顧問の佐藤先生の引率で、今年6月、大阪北部地震で被災した家を訪問し、家具の修復などを手伝うボランティア活動を実施しました。10月には、認知症の人が安心して暮らせる地域のつながりを作っていくことを目的とした全国縦断リレー「RUN伴」にも参加。将来看護師として働くときに大切な、患者さんのことを知り、相手の立場に立つための貴重な経験も、仲間と一緒に積んでいます。

2018年6月結成! / バレーボールサークル 〈Aibo〉

人数：1年生 6名

活動日：主に火曜 18:00~21:00 月2回

場所：大阪狭山市立総合体育館

連絡先：

佐藤先生まで

学外ボランティアにも
チャレンジ!

↓茨木市の民家や公営住宅を訪問し、被災後の家具の修復や清掃を支援。



↓RUN伴2018に参加。認知症への理解が深まり、将来に活かせる経験に



2018年5月結成！ 手話サークル

人数：2年生 5名
活動日：週1～2回
連絡先：
小夜先生まで

患者さんと手話で話せる 看護師になりたい！ 仲良く、楽しく活動しています。」

手話サークルは、今年5月、手話に興味をもつ学生たちで結成されました。授業の合間や放課後に、情報処理室などパソコンが使える教室に集まり活動しています。小学生の頃から手話に興味があったものの学ぶチャンスが逃していた、映画『聲の形』に感動して興味をもった、「アイネクライネを手話ダンスで踊る」という動画に感動して自分も手話で踊りながら歌を表現してみたいと思った、授業で「手話ができる人が現場に一人いたことで、患者さんのケアが行き届くようになった」という話を聞いて自分もそうなりたと思った…など、きっかけはみんなそれぞれですが、「将来、患者さんと日常会話ができる看護師になりたい!」という思いは同じ。顧問の先生も含め全員が

初心者ですが、自分たちで選んだテキストとYouTubeを見ながら、一緒にコツコツと学習を進めています。結成から半年、週1～2回の活動で50音を覚え、簡単な挨拶ができるようになりました。

次のステップは、日常会話で使える単語をマスターし、手話技能検定3級に合格することだそう。障がい者施設にボランティアに行き、一緒に手話ダンスを踊るという夢も。今後の活動が楽しみです。



帰りの挨拶では
手話でしてみたり
楽しんでます。
1年生の部員も
募集中です!

先生からのMessage

看護師として必要な
強い体をつくってほしい。

顧問 佐藤 真 先生

学生たちは将来、看護師として患者さんに生活指導をする立場になります。自分自身が体を動かして、健康管理をしっかりしている方が、

患者さんにより具体的なアドバイスができるでしょう。そういう意味では、このサークルも学びの一部なんですね。今後は病院のバレーボール部と試合するなど、この活動が外部とのつながりを広げるきっかけにもなればと考えています。



先生からのMessage

実際に行動を起こしてくれたのが、
嬉しかった。応援しています!

顧問 小夜 貴文 先生

『顧問求む!』と、すごく達筆な筆書きが、教員室の私の机に置いてあったことから、顧問を引き受けました。私の授業で手話を学ぶことの大切さを話したことがありましたが、その影響もあって立ち上げてくれたのかもとするとすごくうれしかったですね。実習などで忙しいと思いますが、継続して活動してほしいです。



「いつかは、手話ダンスをみんなでするのね」と動画をみながらマネをすること。



変わり続ける アイノイマ

ainote NEWS

オリックス・リビング株式会社と共同で 「AINO-OLG CROSS AGE PROJECT」を開始しました。

藍野大学

オ

オリックス・リビング株式会社(本社:東京都港区、社長:森川 悦明)と学校法人藍野大学 藍野大学(所在地:大阪府茨木市、学長:菅田 勝也)は、2018年4月1日に業務提携し、共同で『AINO-OLG CROSS AGE PROJECT(アイノ・オーエルジー・クロス・エイジ・プロジェクト)』を開始しました。本プロジェクトは、高齢者住宅の運営実績を持つオリックス・リビングの介護ノウハウと、認知症予防に関する数多くの研究実績を有する藍野大学の専門知識を掛け合わせ、高齢者の健やかな老いを支援するための多世代交流(クロスエイジ)型プロジェクトです。オリックス・リビングが運営する有料老人ホーム「グッドタイム リビング 香里ヶ丘」(所在地:大阪府枚方市)で実施している入居者向けのアクティビティプログラム「グッドタイムクラブ」において、作業療法学科の学生が提案するアクティビティプログラムを実施しています。

個々のプログラム(作業活動)は、AINO-OLGが提唱する予備力強化戦略^{※1}をもとに、学生が考えています。また脳内活動を活発にした状態でプログラムに取りかかれるよう、認知要素を含めた健康体操を独自に開発し、この体操と一緒に、これまでに趣味的活動として革細工やロールピクチャー、回顧的活動として昔懐かしい遊び体験を実施しました。笑顔でいきいきと活動に取り組む入居者の姿が見られ、通常見かけないような集中力を発揮される場面が観察されています。学生は、入居者の笑顔が見られるよう一生懸命にプログラムを考え、その準備に取り組んでいます。

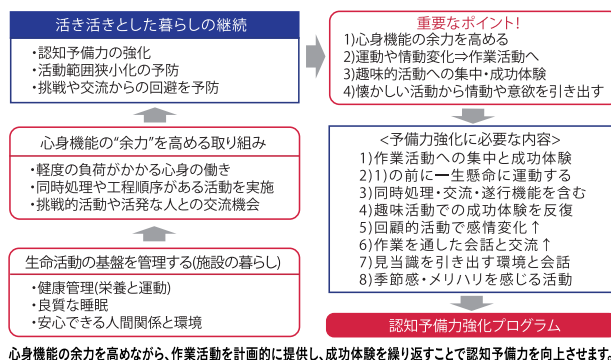
医療を中心とする専門知識を持った若者たちと入居者が関わることは、入居者に新たな活動を促し、生命活動の基礎となる力を高めることにつながります。学生にとっても、実際に構築したプログラムを実施する体験を通じて、学びの機会とプログラムの成果検証などの機会を得ることができます。これらの活動を通じて、直面した課題やその解決策を、新たなノウハウとして蓄積し、介護および教育現場での活用を目指します。

※1 AINO-OLGは、藍野大学とオリックス・リビングを表しています。

※2 「認知予備強化力の戦略とプログラム構想」に関する図



入居者の方に、学生が提案するアクティビティプログラムを実施



心身機能の余力を高めながら、作業活動を計画的に提供し、成功体験を繰り返すことで認知予備力を向上させます。

茨木市×藍野大学連携講座 「半年で若返らそう!あなたのカラダ!!」を開講しています。

藍野大学

茨

茨木市(文化振興課・保健医療課・長寿介護課)と藍野大学は、昨年度から茨木市立生涯学習センターにおいて、連携講座を開講しています。今年度は、受講者の方のカラダを半年で若返らせることを目標に、全6回の連続講座を開講し、講座で学んだストレッチや体操を受講者の方にご自宅でも継続していただく取り組みをおこなっています。茨木市民の皆様は健康意識が高く、50名定員の講座に対して約140名の応募がありました。講師は、理学療法学科の熊田先生、前田先生、梶本先生、安藤先生、大和先生が務め、学生がストレッチ方法の指導や、骨格筋量、骨密度、糖化度、血管年齢などの身体測定をサポートしています。講座に参加された方からは、「定期的に開催される講座のおかげで毎日ストレッチを続けています。」「来年度も開講してほしい。」「体が軽くなった。」といったお声をいただいています。藍野大学は、来年度も茨木市民の健康増進に貢献する講座を計画しています。

【開催内容】2018年

- 第1回 5月26日(土) 身体測定1
- 第2回 6月16日(土) 年齢と血管
- 第3回 7月21日(土) 姿勢と体幹機能
- 第4回 9月29日(土) 脚(あし)と健康
- 第5回 10月20日(土) 身体測定2
- 第6回 12月15日(土) 脳のアンチエイジング・総合評価



第5回目の身体測定の様子。
第1回で測定した数値と比較して、変化を確認



第4回「脚(あし)と健康」

松田紀子講師が 2018年度大学英語教育学会賞(JACET賞) を受賞

藍野大学

東

北学院大学で2018年8月に開催された大学英語教育学会(JACET)第57回国際大会(仙台、2018)論文部門において、理学療法学科の松田紀子先生が、大学英語教育学会(JACET賞)を受賞しました。大学英語教育学会(JACET)は、1962年に設立され、会員数が2,500名を超える国内で最も権威のある英語教育学会の一つで、松田先生は大学英語教育学会賞論文部門において"Evidence of the effects of text-to-speech synthetic speech to improve second language learning"というタイトルで「JACET Journal No.61(2017)」に論文を発表しました。



【松田先生より】

名誉ある賞を頂きまして大変光栄です。このたびの受賞は、様々な素晴らしい出会いと日々支えて下さる方々のおかげと心から感謝しております。今後も英語教育に少しでも貢献できますよう、精一杯頑張っていこうと思います。

【論文の概要】

合成音声と肉声の知覚学習効果を、心理言語学に基づく実験を用いて比較した。その結果、録音した肉声の方が学習効果は高いが、学習者の習熟度が低い場合は合成音声でも同様に学習効果は高く、習熟度が高い場合は意味に注意を向けていた場合に高い学習効果が得られた。合成音声技術の活用は、英語の音声インプットの不足という日本人英語学習者が抱える問題に光明を投ずる可能性があることを示唆した。

最近、英会話の上達や英語資格取得のために、正課の授業以外でも積極的に学ぶ学生が増えています。英語学習にはインプットの量が非常に重要であるため、そうした学生がオンライン上で効率の良いリスニングのトレーニングを受けることが出来ないだろうかと考えたことが研究のきっかけとなったそうです。松田先生はオンライン学習の効果検証の基礎研究に取り組み、今回の受賞に至りました。

オリックス野球クラブ株式会社とパートナーシップを締結 舞洲バファローズスタジアムを見学しました。

藍野大学

藍

野大学は、今年4月、オリックス野球クラブ株式会社とパートナーシップを締結しました。プロスポーツにおける医療体制やスポーツ傷害に関する理解を深めることを目的としたプログラムを実施していく予定で、その一つとして、11月13日(火)、理学療法学科の学生が、舞洲バファローズスタジアムを見学しました。グラウンドでは、選手、スタッフの動きや技術を間近で見学し、選手寮「青濤館(せいとうかん)」では、管理栄養士の河南こころさんに、トレーニング室では、アスレティックトレーナーで理学療法士でもある田中康雄さんに施設を案内していただきながら、プロスポーツ選手の食事方法や栄養管理、リハビリやトレーニング、またプロ野球選手への理学療法士としての関わり方についてお話を伺いました。12月には大学内で、オリックス・バファローズの活躍を支える管理栄養士、トレーナーによる特別講義を実施します。



選手寮「青濤館(せいとうかん)」内の食堂で、管理栄養士の河南こころさんに貴重なお話を伺いました。



アスレティックトレーナーで理学療法士でもある田中康雄さん。見学の締めくくり、数々の質問をさせて頂きました。

変わり続ける

アイノイマ

ainote NEWS

「健康長寿講座～生き生きと死を迎えるために～」 を開講しました。

藍野大学短期大学部
茨木キャンパス

10

月3日(水)から11月21日(水)まで、短期大学部 茨木キャンパスにおいて「健康長寿講座～生き生きと死を迎えるために～」(全8回・無料)を開講しました。今年で3年目を迎えるこの講座では、医学や人体の基礎的な知識に始まり、認知症の人への対応の仕方や病院での治療、役立つ制度など、医師や介護の現場を知る専門家が分かりやすく話します。校舎内の実習室では、介護福祉士の指導のもと、車いすの操作や上体おこしなど、介護の疑似体験実習も。7回目から最終回にかけては「グリーフケア」、「終活時代の生き方、死に方 ー医師、僧侶の視点からー」と題した市民公開講座を開き、多様な学びから「老い」や「死」の受け止め方をも見つめる内容となりました。また受講者の方にキャンパスライフを楽しんで頂けるよう、学生食堂や図書館を開放。2か月の受講期間を通じた、学びの場での出会いから、地域に新たな交流が生まれています。



実習室では介護福祉士の指導のもと、介護者、要介護者の疑似体験を。



市民公開講座は青葉丘キャンパスにインターネット生中継。



最終日には修了式を。佐々木学長より受講生お一人お一人に修了証書が授与されました。

青葉丘キャンパスで、第一回子育て支援講座 『親子でリラックス・ベビーマッサージ』を 開催しました。

藍野大学短期大学部
青葉丘キャンパス

11

月6日(火)、短期大学部 青葉丘キャンパスで第一回子育て支援講座「親子でリラックス・ベビーマッサージ」を開催しました。ベビーマッサージを通して、パパ・ママをはじめとする保護者の方の育児の疑問や悩みにお応えし、育児不安を軽減すること、心にゆとりを生むこと、そして親としての幸福感を充足させることを目的とした講座です。

講師は助産師でもある筒井久美子講師と梅川弘子助教が務めました。赤ちゃんの身体の特徴や、どんな風に赤ちゃんに触れるとリラックスできるかなど、助産師のレクチャーを受けながらベビーマッサージを体験するうち、赤ちゃんもママも笑顔になります。温かな雰囲気の中、ベビーマッサージの体験だけではなく、日ごろママたちが子育てで感じているふとした疑問や悩みに、講師からアドバイスをしたり、参加者同士で会話をしたり、交流の場ともなりました。次回は、来年2019年1月17日(木)に開催いたします。



「同じくらいの月齢の赤ちゃんがいるママと話が出来てよかった」「経験豊富な助産師に質問できて安心した」といったお声がありました。

「藍野高等学校野球部」が、 第100回高校野球北大阪大会に出場しました。 みんなで応援に行きました。

藍野高等学校



野高等学校野球部が「第100回全国高等学校野球選手権記念大会 北大阪大会」に出場しました。今年で創部11年の野球部ですが、ここ数年は部員が激減し、2013年からは単独チームでの出場は途絶えていました。「生きている間に100回大会が巡ってくるなんて。どうしても藍野高等学校として出場したい。」元球児で監督の月見茂雄先生は、ほぼすべての男子生徒に声をかけ、出場まで漕ぎ着けました。しかし野球経験者はバッテリーの2人のみ。集まったもののあきらめ気味だった選手たちに、野球部OBも集まって指導。迎えた初戦、対戦相手は強豪、関大北陽高校。結果は5回コールド負けでしたが、選手も、応援に駆け付けた約100名の生徒たちも晴れやかな笑顔。「最初は思うようにプレーできず悔しさがなかった生徒たちが、お互いに褒めたり、励ましたり、ポジティブな声かけをするようになりました。自分たちで考えて状況を変える姿を見て、嬉しく思いました。このチームの良さです。野球部での経験を通じて、人間関係の築き方や、相手を思いやる気持ちを育んでほしい。」と話すのは月見監督。野球部は、来春の大会出場に向け、練習に励んでいます。



がん征圧をめざすチャリティー活動 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018」に、 参加しました。

滋賀医療技術
専門学校



賀医療技術専門学校の教員と学生で、10月13日(土)、14日(日)に開催されたリレー・フォー・ライフ・ジャパン2018 滋賀医科大学に参加しました。リレー・フォー・ライフとは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんに向かい合い、がん征圧を目指すチャリティー活動で、現在では、世界およそ30か国でイベントが開催されています。

その中のイベントの一つである「リレーウォーク」は、「がんは24時間眠らない」ことから、夜を越えて歩き続けるウォークイベントです。夜を越え、歩き、想いをリレーします。がん患者さんやご家族、そして支援者が交代で夜通し歩き続け、痛みを分かち合い、勇気と希望を与え合います。この日、暑かった昼間の気候が一転して、夜は冷え込みましたが、学生が力を合わせて、交代で24時間歩き続けました。



作業療法学科 前田 浩二先生(写真中央 黒のシャツ)

リレー・フォー・ライフへの参加を通してサバイバーの方や実行委員の方々と関わり、様々な価値観を知ることができました。人と人の絆の強さ、このイベントの大切さを実感しました。卒業生も多数駆けつけてくれました。

作業療法学科 西田めぐみさん(前田先生、左隣)

このイベントに参加して、サバイバーの方たちと、そのご家族の不安な時間に少しでも寄り添うことができる作業療法士を目指したいと改めて感じました。

2019年度も「セカンドレベル」と「ファーストレベル」を キャリア開発・研究センターで開講します。

藍野大学
キャリア開発・
研究センター



野大学のキャリア開発・研究センターでは、日本看護協会より認定を受けた認定看護管理者教育機関として、2014年度から「ファーストレベル」を、2017年度から「セカンドレベル」を開講しています。開講当初より全国から多くの著名な講師を迎え、今年11月にファーストレベルの7期目が終講しました。セカンドレベルは現在2期目が開講中です。毎回、多様なバックグラウンドを持つ受講者たちが関西各地から集まり、看護管理に携わる受講者同士、活発にコミュニケーションがとられ、今後活かせるネットワークづくりの場にもなっています。2019年度も、7月よりセカンドレベルが、11月よりファーストレベルが開講する予定です。



「認定看護管理者」とは

日本看護協会の認定審査に合格し、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有すると認められた者をいい、多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して質の高い組織的看護サービスを提供することにより、保健医療福祉に貢献する役割を担っています。

変わり続ける

アイノイマ

ainote NEWS

茨木キャンパスで「あいの祭」を開催しました。

10/27 (sat)
28 (sun)

↑ たくさんの方がご来場!



↑ あいの祭実行委員会



↑ 学科体験にもたくさんの方が



↑ 看護学科/
赤ちゃんの抱っこ&オムツ体験



↑ 理学療法学科/体組成など測定



↑ 臨床工学科/
血液をきれいにする方法



↑ 作業療法学科/
自助具の使用体験

空が高く風も冷たくなった頃、不安と期待で胸を膨らませて迎えた初日の朝。天気予報は雨。しかしたくさんの方のご参加と予想以上の盛り上がりにより、両日とも無事開催できました。昨年に引き続き、大学、短大、高校と合同で開催した今年のあいの祭のテーマは、「Power of Smile」。学生はもちろん、教職員の方や地域の方も、誰でもみんな笑顔で楽しめるようにという思いを込めました。初の試みとして、事前アンケートの結果から「クイズ大会」や「イントロクイズ」を企画。たくさんの方の集客で盛り上がりました!たくさんのお店があった今年の模擬店は、どこも笑顔が溢れ、一丸となっていました。笑顔の力で絆もより深まったのではないのでしょうか。

今回のあいの祭実行委員会は、「ゼロ」からあいの祭を作り上げようということで、辛いことや苦しいことがたくさんありました。ですが、本番では全員が今まで頑張ってきた分以上の力を発揮し、より団結し笑顔で運営することが出来ました。あいの祭から学んだ、達成する喜びと協力する心、そして経験したことを、社会に出た後も活かしていきたいと思っています。

雨の天気予報を心配していましたが、お越しいただいた皆様、協力して頂いた方々の笑顔のおかげで、開催中はずっと晴れでした。今年もあいの祭は大成功だったと思います。ご協力して頂いた地域の皆様、ありがとうございました!来年度のあいの祭もより良いものとなるように、活動していきます!

あいの祭実行委員会

青葉丘キャンパスで「青葉祭」を開催しました。

11/3(sat)

教室ではマジックと
ボードゲームを!



↑ 久々の制服!



↑ みんなでコスプレ!
フォトコンテストに応募♪



↑ ふわふわドームは
小さな子に大人気!



↑ 青葉祭実行委員会



平成最後の青葉祭。これまでの青葉祭を超えることを目標に、工夫して新しい試みを取り入れました。模擬店は自主的に出店し、空き教室ではイベントを企画。来場者の方に青葉丘キャンパスのことを知って頂けるよう、学内行事の写真を壁にレイアウトし、学外へのポスター配布は例年の3倍にしました。9月から本格的に活動しはじめましたが、新しいことにチャレンジしたことで、会議がなかなか進まずスケジュールにも影響し、頭を抱える日々が続きました。しかしその甲斐あって、去年よりも来場者が増加!好評なご意見も多く、振り返ってみるととても充実した2か月でした。

青葉祭実行委員会



↑ ライブに来てくれた芸人のみなさん、
ありがとうございました。



滋賀医療技術専門学校で「あいの祭」を開催しました。

11/9(fri)



↑ 前方のステージで
カラオケ大会!



変わり続ける アイノイマ

ainote NEWS

2019年12月竣工予定の 新校舎の内容が少しずつ見えてきました!



野大学茨木キャンパスの正面玄関(ファサード)に、2019年12月に竣工予定の新校舎の内容が少しずつ見えてきました。この施設にはアクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、グループワークなど、多様化する医療福祉分野の「能動的な学習の場」としての多様な機能を備えます。

学校法人藍野大学は2018年3月に、地震などの災害時に学内施設を福祉避難所や一時避難場所として開放する協定を茨木市と締結しています。新校舎の建設にあたり、受水槽を災害時にも利用できるようにし、また茨木市の備蓄庫としての機能も整備します。



鉄骨4階建て。延床面積約3,100平方メートル。

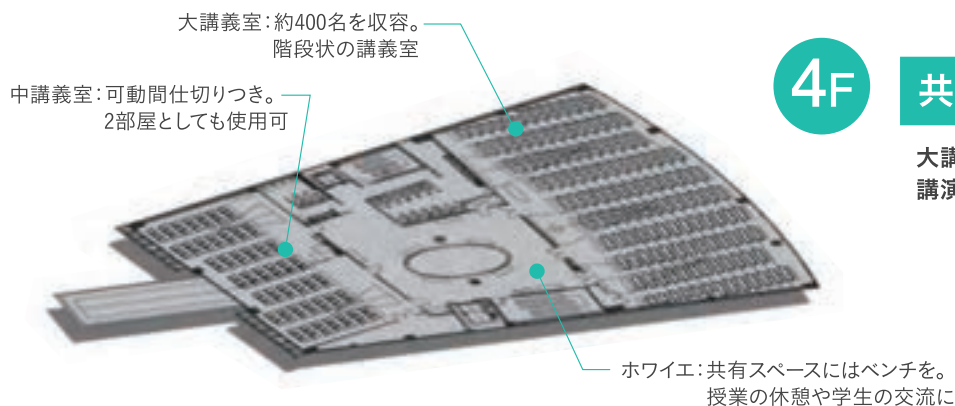
完成予定図(イメージ)



完成予定図(イメージ)



完成予定図(イメージ)

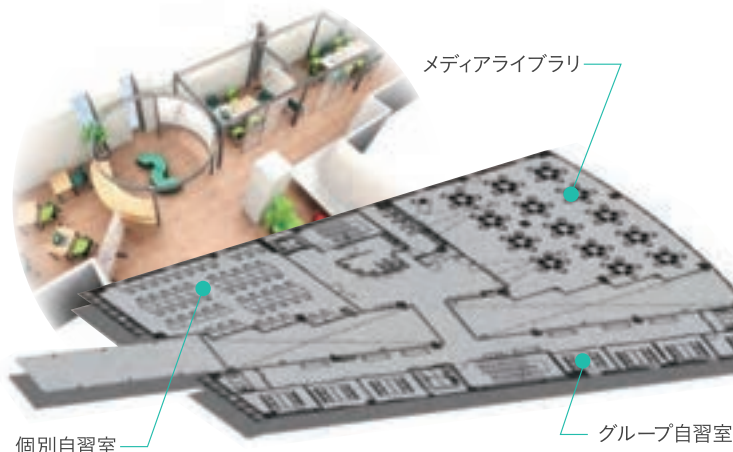


4F

共に学ぶ

講義室のフロア

大講義室と中講義室があり、授業や試験のほか講演会にも。多目的に利用できます。



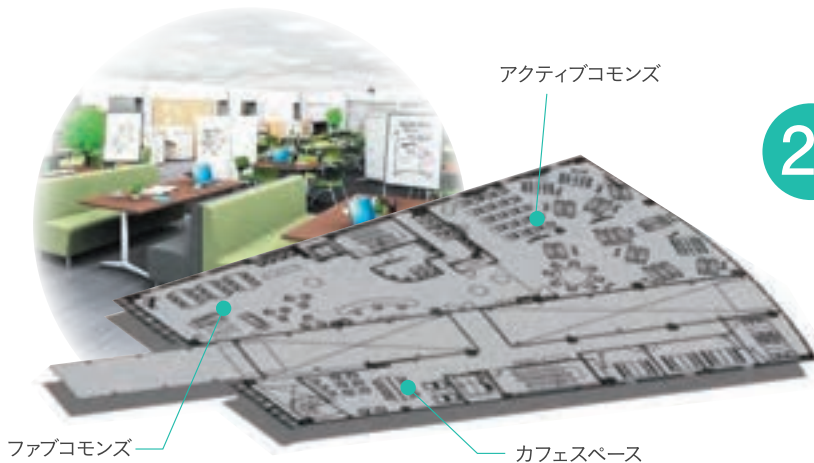
3F

誘発され学ぶ

自習室のフロア

ガラス間仕切りを介してお互いの存在を認識し、学習へと意識を促します。

ディスカッションに使用できるグループ自習室や、1席ごとに仕切られた集中しやすい個別自習室、メディアライブラリ(PC70台)が。



2F

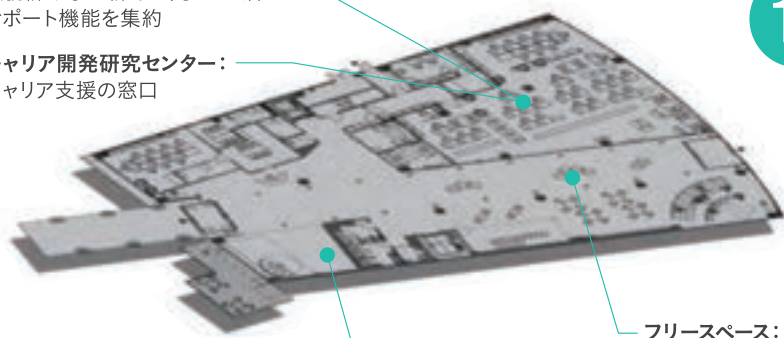
交流から学ぶ

ラーニング・commonsのフロア

開放的な空間で、グループワークなどコミュニケーションを中心とした学習、創造的な学習、多様な学びを。

学習支援センター：
教務課や学生課など、学生生活のサポート機能を集約

キャリア開発研究センター：
キャリア支援の窓口



1F

地域への開放

フリースペース、
オープンカフェ、
学習支援のフロア

誰にとってもアクセスしやすいこのエリアは、イベントを開催するフリースペース、オープンカフェ、学習支援センターの設置を計画。

地域の方にも開放された場所です。災害対策としてかまどベンチ等を設け、安全性を考慮し中央管理室も備えます。

My SCHOOL DAYS

藍野大学短期大学部 第一看護学科／学科長・教授 足利 学 先生

すべては、しっかり気持ちによりそうこと！

ちゃんと悩んだからこそ たどり着いた心理学の道

大学受験では浪人して、進路を決めるのにすごく悩みました。はじめは医学部志望でしたが悩んだ末選んだのは、臨床心理学。なぜかという、「自分の母親は過保護なので（今から考えると単なる反抗期なのですが・・・）」と感じていたことがきっかけだったのですね。いざ心理学を勉強してみると、当時は統計学を活用した心理学が中心で、自分が学びたかった臨床心理は少数派。だけど臨床心理学はすごく面白い学問で、将来はこの世界でやっていこうと決めるほどのめり込みました。ただ、それだけで食べていくことは難しいと思っていたので、弟と学習塾を立ち上げたり、色々なバイトを経験したり。そしてたくさん遊んで、やんちゃもしましたね(笑)。その頃に出会った学生時代の友人とは今でも仲が良い。私にとって財産です。色々な経験があって、楽しいと思える今の仕事に出会えました。私の Motto は、「継続は力なり」。自分の希望はいつも叶ってきたわけではありませんが、続けることで新しい価値観をたくさん発見しましたね。

失敗を恐れずに、自分に嘘をつかずに

最近失敗を必要以上に怖がる人が増えたと思います。友人やきょうだいとのケンカなど、幼少期に経験することが少なくなっていることが原因かもしれません。例えば、携帯電話が普及してからは、着信相手を確認してから出るか出ないか決められるようになりましたね。嫌なことを回避しやすくなると、その分失敗する経験は少なくなります。けれど、失敗しないと分からないことは沢山あります。学生の皆さんには、失敗すること、人とぶつかることを恐れずに、興味を持ったことに挑戦してほしいですね。自分に嘘をつかず、騙さず、自分に誠実に人生を歩んでほしいと思います。それは、本当の自分の気持ちに気づくことから始まるんです。僕は子どもの頃から魚釣りが趣味なんです。釣れなくても海を眺めているだけで満足。そうして続けていることが、好きなこと、向いていることなんですよ。魚釣りや臨床心理学は、ずっと続けていても苦にならない、落ち着くんです。「やってみたい」「好きだ」と思ったら、悩まずにまずは行動してみてください。意外となんとかなるし、失敗しても大したことは起こらないですから。



今から13年前、弟家族との旅行。娘たち、甥っ子に海釣りを教えた楽しい思い出。



学生相談室の相談員を担当することもあり、気軽に訪ねてきてください。

「聴く力」のある医療人になってほしい

医療人を目指す学生の皆さんに身につけてほしいのは「聴く力」です。私たち医療人の仕事は対人援助職だから、相手の話をきちんと聴くことから始めないといけない。実は聴くことの方が、話すことよりもずっと難しい。カウンセラーとして相手の気持ちに寄り添って聴くというのは、一生磨き続けたいスキルだと思っています。それが出来るかどうかケアの要になってきます。どうしたら相手の本音を聴きだせるか？を考えることが大事。そして患者さんの気持ちに寄り添い、配慮できる柔軟性も身につけてほしいと思っています。人に配慮できるのも、自分を知っていてこそ出来ること。自分自身を知るためには、自分の気持ちに気づくことから始めてみましょう。みなさんの聴く力や柔軟性を高めることにつながります。

Profile

1998年関西大学大学院社会学研究科社会心理学専攻臨床心理学専修博士後期課程修了。1993年から医療法人恒昭会藍野病院、藍野花園病院で臨床心理士としてキャリアを積み、2000年4月より藍野学院短期大学講師、2001年4月より助教授、2004年4月藍野大学医療保健学部助教授、2011年より同学部教授、2016年より藍野大学短期大学部 第一看護学科の学科長に就任。教職のほか、大阪府内の高等学校における自死予防への取り組みに参加。現在、自殺予防研究会、グリーンケア（身近な人と死別して悲嘆に暮れる人を支援する）等の研究を行っている。



平成29年度の決算について

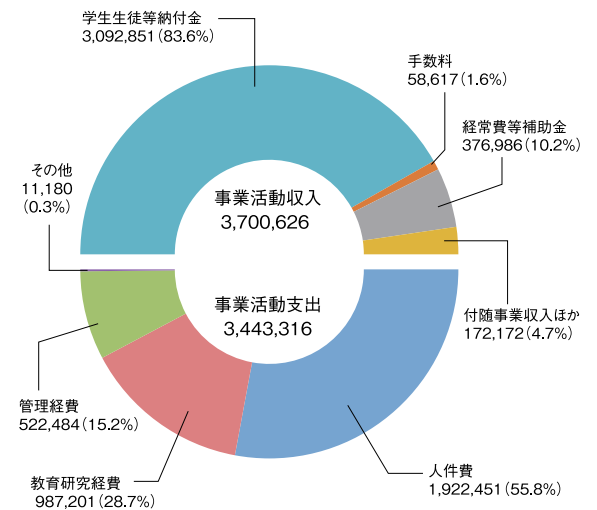
平成30年5月29日の学校法人藍野大学 理事会・評議員会において、平成29年度決算が承認決議されました。収支状況を事業活動収支計算書に基づいたものが、【表1】で、その構成比は【表1-1】の通りです。平成29年度決算状況に関し、【表2】、【表3】がそれぞれ、資金収支計算書、貸借対照表となり、【表4】は、寄附金の状況、【表5】は、補助金の状況、となっております。

【表1】平成29年度 学校法人藍野大学 事業活動収支計算書

(単位:千円)

科 目			予 算	決 算	科 目			予 算	決 算	
教育活動収支					特別収支					
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,976,315	3,092,851	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0			
	手数料	70,673	58,617		その他の特別収入	0	0			
	寄付金	4,862	5,578							
	経常費等補助金	368,638	376,986							
	付随事業収入	100,602	84,345		特別収入計	0	0			
事業活動支出の部	雑収入	65,265	79,792	事業活動支出の部	資産処分差額	0	80			
	教育活動収入計	3,586,355	3,698,170		その他の特別支出	0	0			
	人件費	1,930,949	1,922,451							
	教育研究経費	986,429	987,201							
	管理経費	578,888	522,484		特別支出計	0	80			
	徴収不能額等	0	800		特別収支差額	0	△ 80			
	教育活動支出計	3,496,266	3,432,936							
教育活動収支差額				90,089	265,233	【予備費】 (16,976) 2,214				
教育活動外収支					基本金組入前当年度収支差額				62,684	257,309
事業活動収入の部	受取利息・配当金	2,400	2,456	基本金組入額合計				△ 370,838	△ 312,418	
	その他の教育活動外収入	0	0	当年度収支差額				△ 308,154	△ 55,109	
				前年度繰越収支差額				△ 4,772,734	△ 4,772,734	
				基本金取崩額				0	0	
	教育活動外収入計	2,400	2,456	翌年度繰越収支差額				△ 5,080,888	△ 4,827,843	
事業活動支出の部	借入金等利息	10,615	10,300	(参考)						
	その他の教育活動外支出	0	0	事業活動収入計				3,588,755	3,700,626	
				事業活動支出計				3,509,095	3,443,316	
	教育活動外支出計	10,615	10,300							
教育活動外収支差額					△ 8,215				△ 7,843	
経常収支差額					81,874				257,390	

【表1-1】構成比



【表2】平成29年度 学校法人藍野大学 資金収支計算書

(単位:千円)

科 目			予 算	決 算	科 目			予 算	決 算
学生生徒等納付金収入					人件費支出				
2,976,315					1,930,949				
3,092,851					1,922,451				
70,673					教育研究経費支出				
58,617					691,329				
4,862					696,469				
5,578					546,783				
368,638					478,464				
376,986					10,615				
6,349					10,300				
6,595					226,000				
226,000					226,000				
84,345					82,558				
25,534					25,534				
2,400					72,907				
2,456					62,476				
65,265					77,997				
79,792					20,000				
700,000					20,000				
700,000					106,746				
2,442,636					(17,786)				
2,352,094					2,214				
23,500					2,214				
8,076					△ 95,100				
△ 2,440,109					△ 88,660				
△ 2,440,042									
4,321,131					3,612,787				
4,325,555					3,451,401				
2,870,044					2,870,044				
2,870,044					3,578,389				
3,744,198					3,744,198				
7,191,176					7,191,176				
7,195,599					7,195,599				

※各科目毎に、百円の位を四捨五入しているため、各合計欄の数値と一致しない場合があります。

【表4】寄付金(税額控除対象法人・特定公益増進法人指定寄付金)の状況

2018(平成30)年3月末日現在における寄付金状況は次のとおりです。

(単位:千円)

科 目	種 類	件 数	金 額
4月～3月	・特定公益増進法人 ・税額控除対象法人	169	5,578
合 計		169	5,578

【表5】補助金の状況

平成29年度における補助金交付額は376,986千円となりました。
内訳は以下のとおりです。

(単位:千円)

補助金名称	対象校	交付額
私立大学等経常費補助金	大学・短期大学部	185,336
大阪府私立高等学校等経常費補助金	高等学校	135,486
大阪府他高等学校等授業料支援補助金	高等学校	54,175
大阪府私立高等学校等就学支援金事務費他	高等学校他	1,988
合 計		376,986

※単位表示は千円未満切捨のため合計額が一致しない場合があります。

【表6】は、資金収支内訳表（総括表）、【表7】は事業活動収支内訳表（総括表）となっています。

【表6】資金収支内訳表（総括表）

2017(平成29)年4月1日から 2018(平成30)年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

科目	部門	学校法人	藍野大学	藍野大学短期大学部	藍野高等学校	滋賀医療技術専門学校	合計
学生生徒等納付金収入		0	1,994,205	719,824	142,322	236,500	3,092,851
手数料収入		0	33,577	17,475	3,593	3,971	58,617
寄付金収入		3,990	1,588	0	0	0	5,578
補助金収入		0	112,991	73,495	190,500	0	376,986
資産売却収入		6,349	246	0	0	0	6,595
付随事業・収益事業収入		27,394	11,173	24,444	21,334	0	84,345
受取利息・配当金収入		2,456	0	0	0	0	2,456
雑収入		67,385	8,740	1,073	253	546	77,997
借入金等収入		700,000	0	0	0	0	700,000
計		807,575	2,162,520	836,310	358,003	241,017	4,405,426

支出の部

(単位:千円)

科目	部門	学校法人	藍野大学	藍野大学短期大学部	藍野高等学校	滋賀医療技術専門学校	合計
人件費支出		163,662	949,166	466,039	179,630	163,954	1,922,451
教育研究経費支出		3,599	421,585	166,534	46,236	58,516	696,469
管理経費支出		297,463	52,464	60,319	54,329	13,889	478,464
借入金等利息支出		10,300	0	0	0	0	10,300
借入金等返済支出		226,000	0	0	0	0	226,000
施設関係支出		20,939	1,620	205	2,770	0	25,534
設備関係支出		7,899	50,189	2,169	1,090	1,129	62,476
計		729,862	1,475,023	695,266	284,055	237,487	3,421,694

【表7】事業活動収支内訳表（総括表）

2017(平成29)年4月1日から 2018(平成30)年3月31日まで

(単位:千円)

		部門	学校法人	藍野大学	藍野大学短期大学部	藍野高等学校	滋賀医療技術専門学校	合計
		科目						
事業活動収入の部	教育活動収入の部	学生生徒等納付金	0	1,994,205	719,824	142,322	236,500	3,092,851
		手数料	0	33,577	17,475	3,593	3,971	58,617
		寄付金	3,990	1,588	0	0	0	5,578
		経常費等補助金	0	112,991	73,495	190,500	0	376,986
		付随事業収入	27,394	11,173	24,444	21,334	0	84,345
		雑収入	67,405	10,030	1,268	544	546	79,792
		教育活動収入計	98,789	2,163,564	836,505	358,293	241,017	3,698,170
	事業活動支出の部	人件費	163,662	949,166	466,039	179,630	163,954	1,922,451
		教育研究経費	18,521	587,490	221,608	72,543	87,039	987,201
		管理経費	338,298	54,576	61,016	54,565	14,029	522,484
		徴収不能額等	0	800	0	0	0	800
		教育活動支出計	520,481	1,592,032	748,663	306,738	265,022	3,432,936
		教育活動収支差額	△ 421,692	571,532	87,843	51,556	△ 24,005	265,233
		教育活動外収支の部	受取利息・配当金	2,456	0	0	0	0
その他の教育活動外収入	0		0	0	0	0	0	
教育活動外収入計	2,456		0	0	0	0	2,456	
借入金等利息	10,300		0	0	0	0	10,300	
その他の教育活動外支出	0		0	0	0	0	0	
教育活動外支出計	10,300		0	0	0	0	10,300	
教育活動外収支差額	△ 7,843		0	0	0	0	△ 7,843	
事業活動収入の部	経常収支差額	△ 429,536	571,532	87,843	51,556	△ 24,005	257,390	
	資産売却差額	0	0	0	0	0	0	
	その他の特別収入	0	0	0	0	0	0	
	特別収入計	0	0	0	0	0	0	
	資産処分差額	0	80	0	0	0	80	
	その他の特別支出	0	0	0	0	0	0	
	特別支出計	0	80	0	0	0	80	
	特別収支差額	0	△ 80	0	0	0	△ 80	
	基本金組入前当年度収支差額		△ 429,536	571,452	87,843	51,556	△ 24,005	257,309
	基本金組入額合計		△ 149,964	△ 53,336	△ 104,190	△ 3,811	△ 1,117	△ 312,418
	当年度収支差額		△ 579,500	518,116	△ 16,347	47,744	△ 25,122	△ 55,109
	(参考)							
	事業活動収入計		101,245	2,163,564	836,505	358,293	241,017	3,700,626
事業活動支出計		530,781	1,592,113	748,663	306,738	265,022	3,443,316	

※各科目毎に、百円の位を四捨五入しているため、各合計欄の数値と一致しない場合があります。

【表8】は、活動区分資金収支計算書、【表9】は、監事監査報告書、【表10】は、財産目録となっております。【表11】は、H25年度からH31年度までの定量的な経営判断指標の基づく、経営状態の区分(法人全体)を表しております。

【表8】活動区分資金収支計算書

2017(平成29)年4月1日から 2018(平成30)年3月31日まで

＜総括表＞		(単位:千円)	
教育活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	学生生徒等納付金収入	3,092,851
		手数料収入	58,617
		経常費等補助金収入他	544,906
		教育活動資金収入計	3,696,374
	支出	人件費支出	1,922,451
		教育研究経費支出	696,469
		管理経費支出	478,464
		教育活動資金支出計	3,097,384
	差引		598,990
施設整備等活動による資金収支	調整勘定等		△ 75,588
	教育活動資金収支差額		523,402
	科 目		金 額
	収入	施設設備売却収入	1,051
		施設整備等活動資金収入計	1,051
	支出	施設関係支出	25,534
		設備関係支出	62,476
その他の活動による資金収支	施設整備等活動資金支出計		88,010
	差引		△ 86,959
	調整勘定等		△ 226
	施設整備等活動資金収支差額		△ 87,185
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		436,217
その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	借入金等収入他	706,582
		小計	706,582
		受取利息・配当金収入	2,456
		その他の活動資金収入計	709,038
	支出	借入金等返済支出他	260,803
		小計	260,803
		借入金等利息支出	10,300
		その他の活動資金支出計	271,102
	差引		437,936
	調整勘定等		0
	その他の活動資金収支差額		437,936
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		874,153
	前年度繰越支払資金		2,870,044
	翌年度繰越支払資金		3,744,198

【表9】監事監査報告書

監 事 監 査 報 告 書		平成30年5月25日
学校法人藍野大学 理 事 会 御中 評 議 員 会 御中		学校法人 藍野大学 監 事 中 務 未 樹 印 監 事 堀 江 亮 司 印
私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人藍野大学寄附行為第16条の規定に基づき、学校法人藍野大学の平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の業務及び財産の状況について、下記のとおり監査を行いましたので報告いたします。		
記		
1. 監査の概要 私たち監事は、監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、独立監査人と連携し、計算書類について検討を行うなど必要と思われる監査手続を実施しました。		
2. 監査の結果 学校法人藍野大学の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類すなわち、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。		
以上		

【表10】財産目録

I 資産総額	15,117,452	平成30年3月31日現在
内 基本財産	11,329,472	
運用財産	3,787,979	
収益事業用財産	0	
II 負債総額	3,696,080	
III 正味財産	11,421,372	(単位:千円)
区 分		金 額
一.資産額		
(一)基本財産		
1.土地	1,804,425.46㎡	5,417,839
2.建物	48,262.40㎡	4,714,199
3.図書	97,461冊	383,102
4.教具・校具・備品	22,020点	625,563
5.その他		188,769
(二)運用財産		
1.現金・預金		3,744,198
2.その他		43,782
(三)収益事業用財産		
		0
資産総額		15,117,452
二.負債額		
1 固定負債		
(1)長期借入金		1,033,325
(2)その他		1,975
2 流動負債		
(1)短期借入金		197,875
(2)その他		2,462,905
負債総額		3,696,080
正味財産(資産総額-負債総額)		11,421,372

※各科目毎に、百円の位を四捨五入しているため、各合計欄の数値と一致しない場合があります。
1. 基本財産…私立学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金
2. 運用財産…私立学校の経営に必要な財産

【表11】定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(法人全体)

(予定)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
※定量的な経営判断指導による経営状態の区分	A2	A2	A3	A3	A3	A3	A3

区分 A1～A3 正常状態 B1～C3 イエローゾーン D1～D3 レッドゾーン ※私立学校の経営革新と経営困難への対応 ー学校法人 活性化・再生研究 最終報告ー から抜粋

平成29年度 学校法人藍野大学の決算の概要、経年推移の状況として、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、活動区分資金収支計算書、財務比率を記載しています。

平成29年度 学校法人 藍野大学 決算の概要

平成29年度決算について、平成30年5月28日の学校法人 藍野大学理事会・評議員会において、承認決議されました。藍野大学の財務状況は以下のとおりです。

1. 資金収支計算書概要

資金収支計算書は、学校法人の当該年度の諸活動に対するすべての収入と支出の内容を明らかにし、かつ支払資金の収入・支出の顚末を明らかにするものです。

(1) 資金収入 (収入の部)

- ① 学生生徒納付金収入
学生生徒納付金収入は、入学金および授業料、実験実習費、施設設備費が主な収入であり、前年度と比較し、419万円の増額となり、30億9,285万円となっております。
- ② 手数料収入
手数料収入は、入学検定料が主な収入であり、前年度と比較し、314万円の減少となり、5,862万円となっております。
- ③ 寄付金収入
寄付金収入は、558万円となっております。
- ④ 補助金収入
補助金収入は、国庫補助金や地方公共団体補助金が主な収入であり、前年度と比較し、3,783万円の増額となり、3億7,699万円となっております。
- ⑤ 前受金収入
前受金収入は、平成30年度の学生生徒納付金収入が主な収入であり、23億5,209万円となっております。

(2) 資金支出 (支出の部)

- ① 人件費支出
人件費支出は、教員人件費及び職員人件費、役員報酬、退職金が主な支出であり、前年度と比較し、1,101万円の減額となり、19億2,245万円となっております。
- ② 教育研究経費支出
教育研究経費支出は、各設置校の教育研究活動に必要な消耗品費、光熱水費、委託費、賃借料、実習に伴う謝金、奨学金などが主な支出であり、前年度と比較し、4,531万円の増額となり、6億9,647万円となっております。
- ③ 管理経費支出
管理経費支出は、学校の運営に必要な消耗品費、光熱水費、通信運搬費、委託費、賃借料、学生生徒募集に係る広告費などが主な支出であり、前年度と比較し、9,239万円の増額となり、4億7,846万円となっております。
- ④ 施設関係支出
施設関係支出は、2,553万円となりました。学生のキャンパスアメニティの強化を図ることを目的とし、創基50周年記念大学ファサード整備工事が主な支出です。
- ⑤ 設備関係支出
設備関係支出は、教育研究用機器備品や図書などの購入が主な支出であり、6,248万円となっております。

2. 事業活動収支計算書概要

事業活動収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにするものです。
従前の消費収支計算書から様式が変更され、当該会計年度をア) 教育活動 イ) 教育活動以外の活動 ウ) ア、イに掲げる活動以外の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、当該会計年度において、学校法人会計基準第29条及び第30条の規程により基本金に組み入れる額(以下「基本金組入額」という。)を控除した当該会計年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものであります。

- ① 事業活動収入
事業活動収入は、学校法人の負債とならない収入で返済義務の伴う借入金、預り金等を除いたもので、学生生徒納付金・手数料・寄付金・経常費等補助金・付随事業収入・雑収入となります。平成29年度の事業活動収入は、37億63万円となっております。
- ② 事業活動支出
事業活動支出は、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び当該会計年度における用役の対価に基づいて計算します。平成29年度の事業活動支出は、34億4,332万円となっております。
- ③ 基本金組入額
学校法人が教育研究活動を行っていくために校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を持ち、これを永続的に維持する必要があります。学校法人会計では、当該年度において「資産の取得に充てた金額」を基本金へ組み入れる(＝維持すべき金額)仕組みとなっています。これが基本金組入額となります。平成29年度の基本金組入額は3億1,242万円となっております。
- ④ 基本金組入前当年度収支差額
事業活動収入計より事業活動支出計を差し引くと基本金組入前当年度収支差額が算出され、平成29年度は2億5,731万円の収支差額となりました。
※事業活動収支計算書は資金収支計算書と異なり、教育研究経費に減価償却費2億9,073万円、管理経費に減価償却費4,402万円。また、徴収不能額等が80万円計上されています。

3. 貸借対照表概要

当該会計年度末の資産、負債、純資産の状態(財政状態)を明らかにするためのもので、貸借対照表には資産の部、負債の部、純資産の部を設け、資産、負債、純資産の科目ごとに、当該会計年度末の額を前会計年度末の額と対比して表示します。

(1) 資産の部

- 平成30年3月31日時点における、資産総額(資産の部)は、151億1,745万円となり、前年度比6億5,067万円の増加となりました。内訳は以下のとおりとなります。
- ① 固定資産は、総額113億2,947万円 となり、前年度比2億3,333万円の減少となりました。減少要因は、建物等の減価償却によるものです。
 - ② 流動資産は、総額37億8,798万円となり8億8400万円の増加となりました。うち、現預金は8億7,415万円の増加です。下記の負債の部でもありますように、将来構想に向けた施設設備充実を図るために、市中金融機関からの借入金に伴うものであります。

(2) 負債の部

平成30年3月31日時点における、負債総額(負債の部)は、36億9,608万円となり、内訳は、固定負債が10億3,530万円、流動負債は26億6,078万円となりました。前年度比3億9336万円の増加となっております。主な要因としては、将来構想に向けたファサード設備に伴う市中金融機関からの借入金です。

(3) 純資産の部

(1)における資産の部合計から(2)における負債の部合計を差し引いた金額である純資産に関しては、前年度比 2億5,731万円の増加し、114億2,137万円となりました。

経年推移の状況がわかる資料

貸借対照表の推移 (単位:千円)

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
固定資産	11,615,627	11,562,801	11,329,472
流動資産	2,432,673	2,903,977	3,787,979
資産の部合計	14,048,301	14,466,779	15,117,451
固定負債	459,452	534,625	1,035,300
流動負債	2,772,153	2,768,091	2,660,779
負債の部合計	3,231,606	3,302,717	3,696,079
基本金	15,564,928	15,936,796	16,249,214
繰越収支差額	△ 4,748,233	△ 4,772,734	△ 4,827,843
純資産の部合計	10,816,694	11,164,062	11,421,371
負債及び純資産の部合計	14,048,301	14,466,779	15,117,451

資金収支計算書の推移 (単位:千円)

収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生生徒等納付金収入	3,066,328	3,088,658	3,092,851
手数料収入	67,377	61,757	58,616
寄付金収入	2,493	3,377	5,578
補助金収入	316,616	339,157	376,986
資産売却収入	0	25,708	6,595
付随事業・収益事業収入	91,753	97,594	84,345
受取利息・配当金収入	2,385	1,829	2,456
雑収入	72,073	77,278	77,997
借入金等収入	0	300,000	700,000
前受金収入	2,382,189	2,430,108	2,352,094
その他の収入	41,081	54,707	8,076
資金収入調整勘定	△ 2,449,589	△ 2,387,440	△ 2,440,041
前年度繰越支払資金	2,632,986	2,403,426	2,870,044
収入の部合計	6,225,696	6,496,162	7,195,599
支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費支出	1,925,655	1,933,463	1,922,451
教育研究経費支出	632,752	651,157	696,468
管理経費支出	417,676	386,077	478,464
借入金等利息支出	23,997	15,988	10,299
借入金等返済支出	274,930	240,000	226,000
施設関係支出	407,636	259,681	25,534
設備関係支出	90,365	84,293	62,476
資産運用支出	0	0	20,000
その他の支出	158,436	128,091	98,367
資金支出調整勘定	△ 109,181	△ 72,634	△ 88,660
翌年度繰越支払資金	2,403,426	2,870,044	3,744,197
支出の部合計	6,225,696	6,496,162	7,195,599

活動区分資金収支計算書の推移 (単位:千円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
教育活動による資金収支			
教育活動資金収入計	3,616,642	3,667,824	3,696,374
教育活動資金支出計	2,976,085	2,970,698	3,097,384
差引	640,557	697,125	598,990
調整勘定等	△ 123,861	18,775	△ 75,587
教育活動資金収支差額	516,696	715,901	523,402
施設設備等活動による資金収支			
施設設備等活動資金収入計	0	25,708	1,051
施設設備等活動資金支出計	498,001	343,974	88,010
差引	△ 498,001	△ 318,266	△ 86,959
調整勘定等	43,617	△ 14,858	△ 226
施設設備等活動資金収支差額	△ 454,384	△ 333,124	△ 87,185
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)	62,311	382,777	436,217
その他の活動による資金収支			
その他の活動資金収入計	8,866	345,857	709,038
その他の活動資金支出計	300,737	262,016	271,102
差引	△ 291,871	83,841	437,936
調整勘定等	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 291,871	83,841	437,936
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 229,560	466,618	874,153
前年度繰越支払資金	2,632,986	2,403,426	2,870,044
翌年度繰越支払資金	2,403,426	2,870,044	3,744,197

単位表示は千円未満切捨の為、合計額が一致しない場合があります。

事業活動収支計算書の推移 (単位:千円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生生徒等納付金	3,066,328	3,088,658	3,092,851
手数料	67,377	61,757	58,616
寄付金	2,493	3,377	5,578
経常費等補助金	316,616	339,157	376,986
付随事業収入	91,753	97,594	84,345
雑収入	77,373	79,676	79,792
教育活動収入計	3,621,942	3,670,222	3,698,169
科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費	1,925,655	1,933,463	1,922,451
教育研究経費	919,782	936,174	987,201
管理経費	457,599	437,045	522,483
徴収不能額等	36,901	2,185	800
教育活動支出計	3,339,939	3,308,867	3,432,936
教育活動収支差額	282,003	361,354	265,233
科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受取利息・配当金	2,385	1,829	2,456
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	2,385	1,829	2,456
科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
借入金等利息	23,997	15,988	10,299
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	23,997	15,988	10,299
教育活動外収支差額	△ 21,611	△ 14,159	△ 7,843
経常収支差額	260,391	347,194	257,389
科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
資産売却差額	1,026	172	0
その他の特別収入	0	0	0
特別収入計	1,026	172	0
科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
資産処分差額	15,683	0	80
その他の特別支出	33,555	0	0
特別支出計	49,238	0	0
特別収支差額	△ 48,212	172	△ 80
予備費			
基本金組入前当年度収支差額	212,179	347,367	257,309
基本金組入額合計	△ 743,217	△ 406,867	△ 312,418
当年度収支差額	△ 531,037	△ 59,500	△ 55,108
前年度繰越収支差額	△ 4,217,195	△ 4,748,233	△ 4,772,734
基本金取崩額	0	35,000	0
翌年度繰越収支差額	△ 4,748,233	△ 4,772,734	△ 4,827,843
(参考)			
事業活動収入計	3,625,354	3,672,223	3,700,625
事業活動支出計	3,413,175	3,324,856	3,443,316

財務比率等を活用して財務分析している資料

(単位:%)

比率名	算 式	平成27年度	平成28年度	平成29年度	全国平均
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	5.9%	9.5%	7.0%	4.9%
基本金組入後収支比率	事業活動支出 事業活動収入－基本金組入額	118.4%	101.8%	101.6%	107.8%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	84.6%	84.1%	83.6%	73.7%
人件費比率	人件費 経常収入	53.1%	52.7%	51.9%	53.6%
教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	25.4%	25.5%	26.7%	33.0%
管理経費比率	管理経費 経常収入	12.6%	11.9%	14.1%	9.0%
流動比率	流動資産 流動負債	87.8%	104.9%	142.4%	252.2%
負債比率	総負債 純資産	29.9%	29.6%	32.4%	14.2%
純資産構成比率	純資産 総負債＋純資産	77.0%	77.2%	75.6%	87.6%
基本金比率	基本金 基本金要組入額	94.2%	93.4%	94.8%	97.3%
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 教育活動資金収入計	14.3%	19.5%	14.2%	14.2%
経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	7.2%	9.5%	7.0%	4.1%

※1 小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで記入しています。
※2 全国平均は平成29年度版「今日の私学財政」における「平成28年度財務比率比較表(医歯系大学法人を除く)」における。
※3 経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

平成30年度の予算について

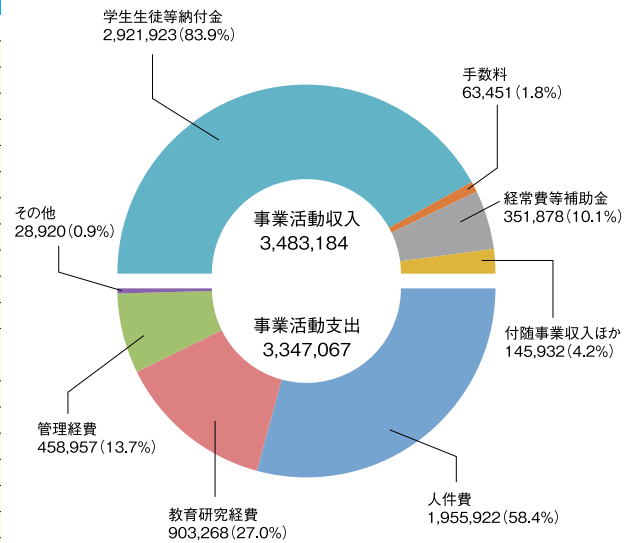
平成30年3月21日の学校法人藍野大学 評議員会・理事会において、平成30年度予算が承認決議されました。予算状況を事業活動収支計算書に基づいたものが、【表1】で、その構成比は【表1-1】の通りです。【表2】が資金収支計算書になっております。

【表1】平成30年度 学校法人藍野大学 事業活動収支計算書

(単位:千円)

科 目			H30年度	H29年度	科 目			H30年度	H29年度
教育活動収支					特別収支				
事業活動収入の部	学生生徒等納付金		2,921,923	2,976,315	事業資産売却差額		0	0	
	手数料		63,451	70,673	その他の特別収入		0	0	
	寄付金		300	4,862					
	経常費等補助金		351,878	368,638					
	付随事業収入		82,100	100,602	特別収入計		0	0	
	雑収入		63,502	65,265	資産処分差額		0	0	
	教育活動収入計		3,483,154	3,586,355	その他の特別支出		0	0	
事業活動支出の部	人件費		1,955,922	1,930,949					
	教育研究経費		903,268	986,429	特別支出計		0	0	
	管理経費		458,957	578,888					
	徴収不能額等		0	0	特別収支差額		0	0	
	教育活動支出計		3,318,147	3,496,266					
	教育活動収支差額		165,007	90,089	〔予備費〕		20,000	20,000	
教育活動外収支					基本金組入前当年度収支差額		136,117	61,874	
事業活動収入の部	受取利息・配当金		30	2,400	基本金組入額合計		△ 375,305	△ 370,838	
	その他の教育活動外収入		0	0	当年度収支差額		△ 239,188	△ 308,964	
					前年度繰越収支差額		△ 5,081,698	△ 4,772,734	
					翌年度繰越収支差額		△ 5,320,886	△ 5,081,698	
					(参考)				
	教育活動外収入計		30	2,400	事業活動収入計		3,483,184	3,588,755	
					事業活動支出計		3,347,067	3,526,881	
事業活動支出の部	借入金等利息		8,920	10,615					
	その他の教育活動外支出		0	0					
	教育活動外支出計		8,920	10,615					
	教育活動外収支差額		△ 8,890	△ 8,215					
	経常収支差額		156,117	81,874					

【表1-1】予算構成比



【表2】平成30年度 学校法人藍野大学 資金収支計算書

(単位:千円)

科 目	H30年度	H29年度	科 目	H30年度	H29年度
学生生徒等納付金収入	2,921,923	2,976,315	人件費支出	1,955,922	1,930,949
手数料収入	63,451	70,673	教育研究経費支出	606,241	691,329
寄付金収入	300	4,862	管理経費支出	425,941	546,783
補助金収入	351,878	368,638	借入金等利息支出	8,920	10,615
資産売却収入	0	6,349	借入金等返済支出	197,875	226,000
付随事業・収益事業収入	82,100	100,602	施設関係支出	1,591,100	82,558
受取利息・配当金収入	30	2,400	設備関係支出	78,000	72,907
雑収入	63,502	65,265	資産運用支出	0	20,000
借入金等収入	700,000	700,000	その他の支出	104,846	106,746
前受金収入	2,245,301	2,442,636	予備費	(0)	(0)
その他の収入	23,500	23,500		20,000	20,000
資金収入調整勘定	△ 2,452,636	△ 2,440,109	資金調整勘定	△ 85,346	△ 95,100
小計	3,999,349	4,321,131	小計	4,903,499	3,612,787
前年度繰越支払資金	3,578,389	2,870,044	次年度繰越支払資金	2,674,239	3,578,389
収入の部 合計	7,577,738	7,191,176	支出の部合計	7,577,738	7,191,176

【表3】予算の説明

事業活動収入

平成30年度は、34億8,318万円を計上しております。平成29年度は35億8,876万円を計上しておりました。前年度に対して、1億557万円の減少を見込んでおります。事業活動収入のうち、学生生徒納付金については、前年度に対して5439万円の減少を見込んでおります。

事業活動支出

平成30年度は、33億4,707万円を計上しております。平成29年度は35億2,688万円を計上しておりました。前年度に対して、1億7,981万円の減少を見込んでおります。事業活動支出のうち、人件費支出は、前年度に対して、2,497万円の増加を見込んでおります。また、教育研究活動の資金である教育研究経費は、前年度に対し、8,316万円の減少を見込んでおり、教育研究活動以外で学校を運営するために必要な諸経費である管理経費は、1億1,993万円の減少を見込んでおります。なお、教育研究経費および管理経費には、減価償却費が含まれております。

基本金組入額

平成30年度は、3億7,531万円の計上を見込んでおります。前年度に対して、447万円の減少を見込んでおります。

基本金組入前当年度収支差額

平成30年度は、1億3,612万円の収入超過を見込んでおります。

前年度に対して、7,424万円の増加を見込んでおります。

※各科目毎に、百円の位を四捨五入しているため、各合計欄の数値と一致しない場合があります。

【表4】計算書類における各科目の平易な説明の資料

資金収支計算書・活動区分資金収支計算書	事業活動収支計算書	説 明
学生生徒等納付金収入	学生生徒等納付金	授業料などの学生生徒からの収入金額
手数料収入	手数料	主に入学検定料などの受験料の収入金額
補助金収入	経常費等補助金	国と地方公共団体からの補助金収入金額
付随事業・収益事業収入	付随事業収入	教育活動に付随する活動からの収入金額
借入金等収入	—	当年度の新たな長・短期借入金の借入金額
前受金収入	—	翌年度分の学生生徒等納付金収入の収入金額
人件費支出	人件費	教員給与及び職員給与等の支出金額
教育研究経費支出	教育研究経費	教育研究活動に関連して支出した金額
管理経費支出	管理経費	学校の管理維持のために支出した金額
借入金等返済支出	—	当年度の長・短期借入金の返済金額
施設関係支出	—	校舎など教育施設の取得等に支出した金額
設備関係支出	—	機器備品や図書などの取得等に支出した金額
	教育活動収支差額	教育活動収支の事業活動収入から事業活動支出を控除した収支差額
	経常収支差額	教育活動収支と教育活動外収支の事業活動収入の合計額から事業活動支出の合計額を控除した収支差額
	基本金組入前当年度収支差額	教育活動収支・教育活動外収支・特別収支における事業活動収入から事業活動支出を控除した収支差額
	基本金組入額	学校法人が活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべき資金として、その事業活動収入から組み入れた金額
	当年度収支差額	上記 基本金組入前当年度収支差額 に 基本金組入額を加算した額
	事業活動収入 計	教育活動収入・教育活動外収入・特別収入などの収入金額の合計
	事業活動支出 計	教育活動支出・教育活動外支出・特別支出などの支出金額の合計

貸借対照表	説 明
基本金の部	学校法人が、その活動に必要な資産を継続的に維持するために、事業活動収入のうちから組入れた金額の合計
第1号基本金	教育目的で取得した固定資産の合計金額
第4号 基本金	学校法人が安定的な経営のために、支出に備えて恒常的に維持すべき資金として留保している金額
翌年度繰越収支差額	事業活動収支計算書における翌年度繰越収支差額と同じ金額

寄附金募集のご案内

寄附金募集要項

特定公益増進法人指定寄附金

募集目的

学校法人藍野大学は、平成30年度に創基50周年を迎え、「藍野大学ファサード整備工事※」に着手しています。その他、当法人が設置する学校の校舎増改築および設備の充実事業に必要な経常経費に充当することを目的とします。

※大学事務所機能、学生支援、ラーニング・コモンズ機能等を予定

募集目標額

1億円

募集期間

平成29年(2017)年4月1日～平成31年(2019)年3月31日

お問い合わせ先

学校法人藍野大学 法人事務局 経営企画部 TEL:072-621-3764

※学校法人藍野大学が募集する寄附金の応募は任意です。また、入学前の募集は行っておりません。

寄附金によるご支援をお願いします。

学校法人藍野大学では、教育環境のさらなる充実を図る目的で、寄附金の募集を行っています。ご理解とご賛同並びに格別のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

募集方法

- 1. 申込金額** 【個人】 1口 3,000円
【法人】 特に1口の金額は定めておりません。
- 2. 募集対象** 在学(校)生、卒業生、保護者、教職員、団体・法人企業及び当法人の教育に賛同いただける方。
- 3. 申込方法** 寄附にご賛同いただける方は、下記振込用紙に必要事項をご記入の上、お振込みください。
- 4. 送金方法** ■郵便局(ゆうちょ銀行)
寄附金専用振込口座 00960-0-128865
■下記振込用紙にて振込
または、学校法人藍野大学法人事務局へ直接持参

※寄附金の免除措置に関しては、下記「税制上の優遇措置について」をご覧ください。

ご芳名の記載について

寄附をいただいた方々のご芳名を藍野大学ファサード整備工事における建物の一部へ記載させていただく予定です。寄附をお申込みされる方は、記載の可・不可を払込取扱票へご記入の上、お振込みください。

税法上の優遇措置について

平成23年度の税制改正により既存の所得控除制度に加え、寄附者の選択により新たに税額控除制度の適用を受けられるようになりました。この税額控除制度は、所得税率に関係なく所得税額から直接控除するため、所得控除制度と比較して、多くの方において減税効果が大きくなります。

(1) 個人の場合

①所得税の寄附金控除

◎税額控除制度

(当該年中の寄附金の合計額-2,000円)×40%=寄附金控除額

※寄附金控除額が所得税額から直接控除されます。

※当該年中は1月1日から12月31日の間となります。

※寄附金の合計額が総所得金額等40%を超える場合には、40%に相当する額が限度額となります。

※控除額は所得税額の25%が限度となります。

〈例〉10,000円の寄附をした場合(10,000-2,000)×40%=3,200円

→ 3,200円が所得税から控除されます。

◎所得控除制度

(当該年中の寄附金の合計額-2,000円)=寄附金控除額

(課税所得-寄附金控除額)×税率=所得税額

※寄附金控除額が課税所得から直接控除されます。

②個人住民税の寄附金税額控除

藍野大学へ寄附をしていただいた方で、※①大阪府内にお住まいの方、※②茨木市と富田林市にお住まいの方は、個人住民税の寄附金税額控除を受けることができます。

※①都道府県が指定した寄附金…4%

②都道府県と市区町村の双方が指定した寄附金…10%

(当該年中の寄附金の合計額-2,000円)×住民税控除率=寄附金控除

寄附することで、税金が控除される制度があります。

※寄附金の額が総所得金額等30%を超える場合には、30%に相当する額が限度額になります。

※個人住民税の寄附金税額控除は、所得税の確定申告をすることにより適用を受けることができます。

※所得税の確定申告をされずに、個人住民税の寄附金税額控除のみを受けようとする場合には、寄附した翌年の1月1日にお住まいの市町村への申告によることもできます。

※税制優遇の対象とならない条件もありますので、ご不明な場合には市区町村の各担当窓口へお問い合わせください。

(2) 法人の場合

受配者指定寄附により、寄附金の全額が損金算入できます。

※詳しくは法人事務局までご連絡ください。

◎確定申告について

寄附者は、確定申告の際に「税額控除制度」または「所得控除制度」のいずれか一方を選んで優遇措置を受けることができます。「税額控除制度」を選ばれた方は、〈寄附金受領書〉と〈税額控除に係る証明書(写)〉、「所得控除制度」を選ばれた方は〈寄附金受領書〉と〈特定公益増進法人の証明書(写)〉によって確定申告の手続きを行っていただくことになります。

受領書と証明書に関しましては、交付希望の連絡を頂いた方に送付させていただいております。平成25年12月20日以降ご寄附を頂いた方で、受領書と証明書の交付希望のご連絡をして頂いた方には、〈受領書〉〈税額控除に係る証明書(写)〉〈特定公益増進法人の証明書(写)〉をお送りいたします。

(3) その他

国・自治体等から要請があった場合には、寄附者名簿を提出させていただきますので、ご了承願います。寄附者名簿には、寄附者氏名、住所、寄附金額、寄附金受領日を記載いたします。



新しいメニューが追加になりました！



**オムライス
定食260円**
ごはん大盛は
280円

ふわふわの卵は見事な食感！中にはおいしいチキンライス♪サラダのとなりはカニクリームコロッケ。トマトソースとホワイトソースを同時に味わえる贅沢な定食です。(お味噌汁もついています！)

人気メニュー



**とりそば
160円**

季節メニューの「とりそば」です。ふわっと漂うごま油の香りにモチっとした麺は絶妙です。味はあっさり目なのも魅力的。温まりたいときにおすすめの一杯です！



**ロースト
ビーフ丼ミニ
160円**

お米にしっかりと絡みつく半熟卵が◎贅沢な丼です！画像はミニサイズ 160円



**あんかけ
もやしラーメン
160円**

こちらも季節メニューの「あんかけもやしラーメン」。この味を待っている人もたくさん！ほんのちょっとなどみのある、やさしい味わいのスープは、気づいたら飲み干していたほど。

藍野大学学生広報スタッフより

Twitterに食堂メニューの感想を載せています！

イチオシの食堂メニューがあれば、Twitterで教えてくれると嬉しいです！

藍野大学学生広報スタッフ
@aino_student



棒から定食

復活メニューの棒から定食。皆が待っていたメニューが復活しました！ボリューム感のある唐揚げが最高です。みなさんに是非食べて欲しいです。